

# 支援を充実！

## 4700万円・他5件の特別会計予算

### 景観形成計画作成事業 117万円



2020年までの景観行政  
団体移行を見据えて、2年かけ  
て白馬村にふさわしい景観計  
画を策定。

### 消防車両購入事業 2310万円



住民生活の安心安全のため、  
更新計画に基づきポンプ車1台  
を購入。

### 北城南部ほ場整備事業 1400万円



北城地区中央部に優良農地  
41haを確保する事業に着手。  
30年度は実施設計。

### 村道改良事業 4億3400万円



村道改良のための用地取得・  
改良工事、舗装修繕工事等。

## 議会も注目する目玉事業

### 3月定例会

平成30年第1回定例会は、3月  
5日から22日までの18日間の会期  
で開会。

初日から5日間は予算特別委員会を設置し、平成30年度一般会計  
予算及び5件の特別会計予算を集中審議しました。

一般会計予算総額60億4700万円は、前年度当初予算と比較し  
て5億800万(7.7%)の減です。

歳入では、主な財源となる固定資産税の評価替えから減少となる  
見込みです。地方交付税への依存度が高くなる状況ですが、国の財政  
計画において、前年度を上回る額が確保されたものの、基準財政収入  
額の算定に用いる徴収率の段階的見直しなどにより、今後減少して  
いくことが想定され、厳しい財政運営が予想されます。

歳出では、広域ゴミ焼却施設の建設や神城断層地震による災害復

旧がひと段落したことから、抑制していた道路改良事業など、地域要  
望に応えるための社会基盤整備事業を再開したことで費用は増加す  
る状況です。

予算編成の基本的な方針は、第5次総合計画及び総合戦略の確実  
な推進、地区懇談会等による住民の声の反映、自立性の高い持続可能  
な行財政運営のための経費の削減と自主財源の確保など、納税者の  
視点にたった行財政改革の推進。

さらに子育て支援や地域振興策など喫緊の行政課題への対応、歳  
入の確な確保と新たな財源を創出し、将来を見据えた投資を推進  
する予算編成とされています。

予算特別委員会では重点的に取り組む事業を中心に審査を行い、  
最終日に全予算を可決しました。